

申込方法→

備える。
つながる。

東日本大震災以降、東北では自然現象の変化による災害が多発傾向にあります。

災害時には迅速で正確な情報の共有が不可欠であり、地元自治体や救急機関、警察、消防、ボランティア組織などがネットワーク化を図り、公助に対応にはすることはもちろんですが、住民レベルの防災対応も望まれます。私たちは東日本大震災の教訓を活かし、防災、減災に関する自助、共助、公助のつながりの意識を高め災害に強いまちづくりをしなくてははいけません。災害に対する平常時の備えと発災時・後の対応について“つながり”をテーマに広く情報と場の共有を図るフォーラムを開催します。

東北六県防災・減災

ネットワークフォーラム

参加費無料

2024

1.21 THURS 13:30
16:00

会場

秋田市 遊学舎

(秋田市上北手荒巻堺切 24-2 TEL:018-829-5801)

オンラインでも同時開催

定員 会場30名/オンライン30名

「令和5年度秋田豪雨災害の
状況と対応について」

NPO 法人あきたパートナーシップ

理事長 畠山 順子氏

「災害に強い住民自治を
形成する為の取組について」

NPO 法人きらりよしじまネットワーク

事務局長 高橋 由和氏

第一部 事例報告 —災害からの学びとこれからの備え—

第二部 グループディスカッション

参加者同士の活動の共有や今後のネットワークづくり等について話し合います。

第三部 全体共有

—本事業は、真如苑市民防災・減災活動公募助成を受けて実施しています。—

◆主催：一般社団法人みちのくデザインセンター ◆協力：東北六県 Roll (中間支援組織等による相互防災協力ネットワーク) NPO 法人あおり NPO サポートセンター、NPO 法人あきたパートナーシップ、NPO 法人いわて連携復興センター、一般社団法人みやぎ連携復興センター、一般社団法人ふくしま連携復興センター、NPO 法人きらりよしじまネットワーク、一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター

NPO 法人あきたパートナーシップ
理事長 畠山 順子氏

子育ての傍ら子育てサークル運営など地域活動に関わり、障害児支援団体を立上げ現在も活動中。2006年からNPO法人あきたパートナーシップでNPO・市民活動の相談対応や市民活動に関する講座・セミナーなどの事業を企画。市民・企業・行政など、社会全体から資金を集め活動団体を資金面で支援する市民ファンド「あきたスグッチファンド」の立上げに関わり事務局担当。東日本大震災では活動団体の資金のサポートを行い、広域避難者支援拠点として北東北の支援活動を継続。2023年7月の秋田豪雨においては、中間支援NPOとして、秋田県内の情報共有会議の開催や、被災者支援へのコーディネートを現在もやっている。

発表者

NPO 法人きらりよしじまネットワーク
事務局長 高橋 由和氏

2002年、町の行財政改革に伴う公民館の公設民営化を契機とし、2004年、地域内の地縁で組織される各種団体を統合し新たな地域運営組織の構築を住民に提案した。住民説明と住民ワークショップを丁寧に繰り返し、少しずつ合意形成を図り設立までに3年の準備期間を設け2007年に全世帯加入のNPO法人きらりよしじまネットワークを設立。地域の若者層をNPO法人の事務局として組織に体系化するとともに、課題解決の技術やツール活用等を学ばせ、将来の担い手育成を計画的に実践している。21の自治会活動を補完するプラットフォームとして機能させている。

参加対象者 東北各地域で活動する防災・減災の活動団体、災害ボランティア団体、危機管理担当職員、社会福祉協議会・災害対応について興味のある方

申込方法 FAX、Eメール、申し込みフォーム、いずれかの方法でお申込みください。

方法1 申込フォームの場合

下記にアクセスするか、右のQRコードを読み取って必要事項を記入の上送信してください。



 <https://forms.gle/vhWBg9fkgUK2HXANA>

方法2 Eメールの場合

①参加される方の氏名、②参加される人数、③所属、④連絡先 をメール本文にご記入のうえ、送信してください。

 kuzumaki@michinoku-design.org

方法3 FAXの場合

以下の内容をご記入のうえ、下記まで送信してください。

FAX申込用紙

 022-797-6788

参加される方の氏名		参加される人数	ご本人含め 名
所属		会場	現地・オンライン
連絡先			

問い合わせ先

一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター 担当葛巻 TEL:022-797-6708